

人権・平和・環境 未来への宣誓

宣 誓

私たちの住んでいる「瑞穂市」が市制施行されて20周年を迎えました。

瑞穂市では、将来に向けて「人権」「平和」「環境」の3つのテーマを掲げ、とりくんでいきます。私たち瑞穂市の中学校は、この「人権」「平和」「環境」について、中学生としてできる目標をまとめました。

「人権」

私たちは一人一人違う個性をもっています。学校生活の中で、自分とは違う考え方に触れ、物事の見方や捉え方が変わったことや、仲間からの優しい言葉や支えに助けられたことが幾度となくありました。仲間との関わりがあったからこそ、自分自身を成長させることができた実感しています。

互いを尊重し、より成長しあっていくために、仲間との関わりの中で、大切にしていけるべきことが私たちにはあります。

一つ目は、相手の立場に立って、互いを認め支え合うことです。見えるものだけでなく、相手の立場や気持ちを考えること、自分の行動や発言に責任をもつことを大切にします。

二つ目は、周りに流されず自分から真実を見つけることです。決めつけた見方や無知がいじめや差別を生み出します。事実を見つめ、正しい知識を得ること、自分には関係ないと他人事にせず、自分の問題として考えることを大切にします。

これら2つを実践していくことで、誰もが安心して、楽しく、笑顔で生活できる学校を目指します。これからの「瑞穂市」を任っていく私たちのこうした取り組みが「誰もがお互いを尊重し、支え合う共生のまちづくり」につながると考えます。

「平和」

「今の日本は平和だと思いますか？」私はこのように問われたときに、平和と言っていいのだろうかという疑問に思いました。長期に続くウクライナ戦争。私たちの生活には命にかかわるような直接的な被害はありませんが、ニュースで見たり聞いたりするたびに心が痛くなります。同じ15歳の子供がテレビの向こう側にいるからです。「私たちは平和な生活を送っている」と声高らかに話すことはできません。

昨年の平和登校日の時には、原爆投下時に、当時35万人以上の人々が被爆し、私たちと同じくらいの子どもたちの命も多く失われたことを知りました。総合的な学習の時間では、長崎に原爆が投下された11時2分で針が止まった柱時計や、爆風で半分がなくなった鳥居などを見て、改めて原爆の悲惨さを学びました。もう二度と戦争を起こさないために、過去から学び、平和な社会を守っていかなければならないと実感しました。

世界中にある核兵器や戦争をなくすことは私たちには到底できないことかもしれません。しかし、私たちは正確な情報を見定め、自分にできることを考えて行動することはできます。相手の立場に立って物事を考えること。腕力ではなく、話し合うことでお互いの思いを理解し尊重し合うこと。そうした小さな平和を築いていくことで世の中の平和を守ることにつながると思います。そうして、一步ずつ多くの人を笑顔にすることを目標に行動していきます。

「環境」

インターネットなどを通して、気軽に商品が手に入る現在、大量購入がもたらすゴミの大量排出が問題になっています。景観や環境保持のために、国が行うような大規模な取り組みはできませんが、私たち中学生でも身近なことから変えることができます。

例えば、商品を購入する際、一度必要性を見直すことで計画的になります。今ある物を大切にし、使い続けるだけでもごみの排出量削減につながるのです。さらに現在、電気の使用量の多さも問題となっています。電気は目に見える物体ではない上に、電化製品はとても便利のため、一言で「節電」と言っても、私たちにとっては難しいことです。しかしこの小さな日々の積み重ねは何十年、何百年先の未来に繋がり、地球温暖化や資源枯渇などの問題を誘発します。これを念頭に置き、軽視されがちな「節電」に関しても「夏に水タオルを首にかける」など、まずは私たちができる小さな努力を心掛け、向き合うことが重要です。

未来を見据え、必要な時に必要なものを効率よく消費することで、今ある環境を守っていくことを目標に、自分事として行動していきます。

「未来へのメッセージ」

ICT技術などの発達によって、会って顔を合わせなくても済んでしまうことが多い世の中になってきています。しかし、実際に顔を合わせ、会話をしてこそ、相手のことを本当に理解することができると思います。

今年で20周年を迎えるこの瑞穂市は現在でも人口は増加傾向にあります。多くの人が瑞穂市の住みやすさを実感しています。その理由の1つに「あいさつ」があると思います。瑞穂市には様々な人が住んでいます。高齢者のかたにとっても、外国出身のかたにとっても、私たち若い世代にとっても、活気と笑顔があふれるまちにしていくには、「あいさつ」からはじまる「人と人とのつながり」が重要です。

私たちは、地域の多くのかたがたに見守られながら育ってきました。

私たち中学生にも地域のために貢献できることが沢山あると思います。

未来を担う私たちは、「あいさつ」によって広まる優しい気持ちやそれによって深まる「人と人とのつながり」を大切に、この温かい雰囲気を一市民として守り続けるとともに、地域のかたがたと手を取り合いながら、誰もが安心して生活ができる活気と笑顔があふれる虹色に輝く瑞穂市づくりに励んでいきます。